## ５．３薬王山法海寺

### （１）薬王山法海寺略縁起

**<参考資料>「酔笑人神事（えようどしんじ）」**

熱田神宮で、毎年５月４日午後７時　境内各所で行われる神事。
喜び笑う様から俗に「オホホまつり」、「於賀斯（おかし）まつり」　とも呼ばれている。

神事の概要は、以下のとおりである。

見てはならないと語り伝えられる神面を神職17名が各自装束の袖に隠し持ち、内２人が袖の上から中啓という扇で神面を軽くたたき、「オホ・オホ」と唱えると、笛役が笛を吹き、それを合図に全員が一斉に神面をかぶり大声をあげて「オホホ」と笑って、境内を歩き回る。この神事では祝詞がなく境内の灯りも全て消して行われる。

なお、この神事の行われる場所は次のとおりである。
影向間社・神楽殿前・別宮八剣宮前・清雪門前（以上４か所）。

この神事は、故あって天智天皇７年（６６８）から１８年間皇居にて奉斎（つつしみきよめてまつる）されていた草薙の神剣が、天武天皇朱鳥元年（６８６）に再び熱田神宮に還座（元のところへもどす）されたのを当時の神宮関係者が歓喜笑楽した故事を今に伝えるものである。

神官たちは、草薙の神剣の帰還を盛大に喜びたい一方、そんなことをしたら、天皇家に失礼である。そこで、暗闇の中でこっそり大笑いしたそうだ。